

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年1月19日(2017.1.19)

【公開番号】特開2015-112398(P2015-112398A)

【公開日】平成27年6月22日(2015.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-040

【出願番号】特願2013-258146(P2013-258146)

【国際特許分類】

A 6 3 H 3/46 (2006.01)

A 6 3 H 3/36 (2006.01)

【F I】

A 6 3 H 3/46 A

A 6 3 H 3/36 G

A 6 3 H 3/36 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月5日(2016.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

補助弾性体の先端部がリング状になっており、補助弾性体がリングに牽引弾性体を通すことによって連結されている請求項1又は2のいずれかに記載の人形の股関節構造。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明は、前記人形の股関節構造において、補助弾性体が牽引弾性体に沿って移動可能に連結されているものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明は、前記いずれかの人形の股関節構造において、補助弾性体の先端部がリング状になっており、補助弾性体がリングに牽引弾性体を通すことによって連結されているものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明は、前記いずれかの人形の股関節構造において、胸部材の両股関節凹部が

股間部の連絡部によって互いに繋がっており、股間部の連絡部に補助弾性体が通されており、股間部の連結部から突出した補助弾性体の両端がそれぞれ左・右いずれかの脚部材の中空部内に通された牽引弾性体に連結されているものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明は、前記いずれかの人形の股関節構造において、左・右脚部材を開脚させない状態において補助弾性体が牽引弾性体を牽引していないものである。